

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
概要	<p>高齢化の進展に伴い、高齢者の就労や活躍の場づくり、社会参加に向けた活動の支援について推進する必要があります。</p> <p>高齢者が地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築し、推進を図ります。</p> <p>また、子どもや高齢者、障がい者等、誰もがいくつになっても地域で健やかに自立した生活を送ることができるよう、気軽に運動ができる環境づくりを進めるとともに、民間の力を活かした健康・体力づくりの機会をつくること等により、未病に対する取り組みを推進し、町民の健康・体力増進を図ります。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	地域福祉支援事業 (No.3)	13	90.4	61.5	30.8	0.0	7.7
(2)	生活支援サービス推進事業 (No.4)	5	80.7	80.0	20.0	0.0	0.0
(3)	高齢者生きがい対策事業 (No.5)	2	94.7	50.0	50.0	0.0	0.0
(4)	雇用機会の充実の検討 (No.6)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
(5)	一般介護予防事業 (No.7)	2	71.9	50.0	50.0	0.0	0.0
(6)	介護サービス推進事業 (No.8)	14	77.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	保健サービス推進事業 (No.12)	13	90.4	61.5	30.8	0.0	7.7
(8)	地域医療連携推進事業 (No.13)	3	97.8	66.7	33.3	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の通いの場の継続的な運営 ・地域の助け合い活動に結びつけるための地域の協議体の設置 ・医療介護連携事業の準備 ・担い手不足と意識啓発 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	未病センターの開設により、健康づくりの拠点が整備できた。また、地域全体で介護予防に取り組む地域の通いの場が始まり、一色小学校区福祉協議会の設置ができ、他の地区についても地域の協議体設置のための準備をした。

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	地域包括ケアシステム関係事業は継続的に実施しなければならないため、地域の理解を得ながら計画的に実施する必要がある。また、未病センターや地域の通いの場ができたことにより、健康づくりや介護予防の取り組みが進んでいるため、さらに主体性を持って継続させることで健康寿命の延伸を目指す。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持 ②改善して町が実施 ③改善して町以外が実施 ④要検討

意見等

生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。

今後、さらに推進するために、未病センターにおいて、健康状態の見える化や健康づくり事業が気軽にできることにより、町民が主体的に健康管理ができる環境を整え、健康増進への意識向上へとつなげる。また、住み慣れた地域の中でも継続できるように、関係機関や町民と連携を図り、健康づくりに取り組むとともに、活動を通じて地域のつながりを深め、互いに支え合う関係を築き、誰もが地域の中で健やかに生活を送れる環境づくりを図る。